

第26回同窓会総会 平成27年8月30日(日)

第26回福岡県立大学同窓会総会が、福岡県立大学にて開催されました。

総会参加者66名：保母養成卒11名、社保短卒17名、福県大卒（大学院卒を含む）4名、保健婦養成卒1名、公衛看卒1名、県看卒23名、来賓1名、事務局スタッフ（学生スタッフを含む）8名でした。

※総会議題につきましては、7月発行の総会案内に同封させていただきましたので、そちらを参照願います。



総司会：栗秋佐智恵（県看看護16期）さんにより総会が始まり、会長挨拶の後、議長選出が行われ、江島恵美子（県看保助6期）さんが選出、議題審議が行われました。

■ 議題審議 ■

- 議題①平成25年度平成26年度 事業報告
杉本副会長より報告
- 議題②平成25年度平成26年度 決算報告
杉本副会長より報告
- 議題③平成25年度平成26年度 会計監査報告
石本監事より監査報告

◇ 質疑応答

質問1：人間社会学部特別会計についてはお話があったが、看護学部同窓会と県立大学同窓会はどうなっているか？

事務局回答：看護学部同窓会と県立大学同窓会の特別会計については一つの金融機関に預けており、普通預金に利息が掲載されているので、一般会計に繰り入れている。

◇議題①②③一括採決、承認されました。

議題④役員改選 事務局より提案

平成27年度・28年度役員に以下の方が選出され、承認されました。

会長：川上鉄夫

（福岡県社会保育短期大学社会福祉科4期）再任

副会長：野口久美子

（福岡県立看護専門学校保健婦助産婦科2期）再任

副会長：杉本眞佐子

（福岡県立保母養成所15期）再任

副会長：郡谷忠士

（福岡県立大学社会福祉学科1期）再任

会計監査：

石本光輝（福岡県立大学人間形成学科2期）再任

永井尚子（福岡県立大学社会福祉学科2期）新任

議題⑤看護学部同窓会の本同窓会への統合

野口副会長より説明提案

<看護学部同窓会会長近藤美幸さんより説明>

看護学部同窓会の立ち上げは、1期生発起人メンバーを中心に立ち上げられました。卒業間もなくで職場が落ち着くまではと当時県立大学学内にいたものが、会長と会計を引き受けました。

その後は、発起人の協力が得られないままに運営を続けていくことが難しい状態に陥りました。そこで、発起人メンバー以外の1期生を集めて話し合いを行い、「県立大学同窓会と統合」の意見が出て、看護学部同窓会総会を行い、統合との採決に至りました。よろしくお願ひします。

野口副会長より追加説明

◇ 質疑応答

書面質問・意見について事務局より報告

◇議題⑤採決、平成28年度より統合となることを確認し、承認されました。

議題⑥平成27年度・28年度事業計画案

郡谷副会長より提案

議題⑦予算案の説明提案

郡谷副会長より提案

◇ 質疑応答

質問1：25・26年度の決算額から予算を考えることはできないのか？

副会長回答：決算報告は本日用うもので、決算額も本日報告で確定ということであるので、予算については、前年度の予算額をあげさせてもらっている。

質問2：特別会計の使途関係はどう考えているか

会長回答：社会保育短期大学後援会から同窓会に預金等を譲り受けた。学生会館のようなものを建設するときに使うという考えもあったように聞いているが同窓会として正式に議論した状況ではない。

会長回答：平成15年看護学部設置時に大学側より寄付を行ってほしいとの要望があった。講堂に難聴者支援システムを寄付した。

質問3：県立大学同窓会の特別会計が、増えていない、通常会計から特別会計に繰り入れることができなかったのはなぜか？

事務局回答：県立大学同窓会が平成7年設立（社会保育短期大学同窓会との一本化により）となり、当時の社会保育短期大学同窓会への寄付を特別会計とした。社会保育短期大学後援会が学生会館建設の為に積立て

いたもので、県立大学同窓会にその意思を次いでほしいとの意向からである。県立大学同窓会が活動を行う中で、少しずつ余剰が出るようになり、特別会計に積立をするようになった。平成15年看護学部設置（看護学部棟、管理棟）時に大学側より寄付の要望があがり、前述の難聴者支援システム等を寄付した。平成16年県立看護専門学校同窓会の加入時に、積立金（看護専門学校同窓会事務局を作るための積立金）があり、それを看護学部同窓会特別会計として凍結することになった。同時に、県立大学同窓会特別会計の内、社会保育短期大学後援会からの寄付金相当額を人間社会学部同窓会特別会計として凍結した。平成17年、18年と県立大学特別会計に通常会計の余剰金を予算化し積立していた。平成19年看護学部同窓会立ち上げ後、入金収入が減少、会員よりの年会費納入も伸びず、毎年全会員に向けて会報を発行することが困難となり、余剰金を積み立てる事ができなくなった。看護学部同窓会立ち上げの年から積立はできないまま、現在に至っている。

質問4：特別会計は合算して一本立てしていったらどうか？学生会館については今はどのように考えているのか。

会長回答：学生会館等建設については、これまでに同窓会として、正式に協議した状況ではなく、建設するならば、準備として学校側との事前協議も必要となる。学生会館等を建設するかどうかについてまず幹事会の中で協議していくことになる。

それぞれで特別会計を組んできたが、一本化の協議はできるかと思う。特別会計の一本化について幹事会に提案していく方向で行う。

◇議題⑥⑦採決、承認されました。

⑧報告事項

減免規程について野口副会長より説明

本同窓会では入会金・年会費規程を作り、年会費の減免措置（シニア、ファミリー、パートナー会員への減免）を行っている。障がい者の減免などのご意見をいただいて検討してきた。同時に年会費減免措置を行っている他の大学同窓会を調査した結果、年会費減免措置をとっている同窓会は少なく、しばらくこのままでやらせてほしいと考えてる。

減免規程についての書面質問

質問1:75歳以上の減免措置について、なぜ自動的に処理してもらえないのか。

回答:同期であるからといって年齢が特定できない点から自己申請としている。

議長：減免申請をしている人数は？わからなければいいがそんなに多くはないと思う。

事務局：今年度の申請は4件。昨年度までも多くの申請はない。（今年度までの申請結果、減免措置を行っているのは、25件）

その他書面質問

質問1:年会費納入率は、納入願い送付可能な会員を母

数にしたら何パーセントになるのか？

事務局回答：総会案内に掲載した納入率は発送可能な人を分母にしている。説明不足だったので、今後は説明書きを入れるようにする。

質問2:27年度・28年度も同窓会会報は、新卒者と年会費加入者でもよいと思う。

事務局：同窓会会報25・26年度においては、予算のスリム化を図り、新卒者と年会費納入者のみの会報発行としていた。看護学部同窓会の統合など、周知する事項もあり、27・28年度に限り全会員発送が必要と考えている。

議題審議終了

■役員紹介■

川上会長から役員紹介後、会長、副会長、会計監査より自己紹介をしていただいた。

会長：今回看護学部同窓会会長、近藤会長が将来を見据えて、統合の要望を出していただき、最善の方向を選んでいただいたことに感謝したいと思います。

よろしくお願ひいたします



福岡県立大学看護学部同窓会
会長 近藤 美幸

日増しに秋も深まり、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

福岡県立大学同窓会の皆様、はじめまして。福岡県立大学看護学部同窓会会長の近藤美幸と申します。この度は福岡県立大学同窓会と統合させていただけますことを了承いただき、誠にありがとうございました。

福岡県立大学看護学部同窓会は、「会員の親睦を厚くし、看護学部の発展を企図すること、会員の教養を高め専門職としての知識と技術の向上に努める」ことを目的として、看護学部1期生が卒業する平成19年3月に設立しました。しかし本会は運営初期の頃から役員の人手不足にあり、本会の発起人メンバーを中心とした会員に活動・運営の協力を依頼しておりましたが、協力が得られない状況が続いていました。そのため運営は大学職員である会長と会計の実質2名で行っており、同窓会を立ち上げたにもかかわらず目的に沿った活動ができていないことを心苦しく感じておりました。

今後は、福岡県立看護専門学校や福岡県立大学人間社会学部の諸先輩方とともに、福岡県立大学のさらなる発展を願って一緒に活動をさせていただきたいと考えております。そのためにも皆様方からのご指導のほどよろしくお願ひいたします。

懇親会

懇親会参加者87名：

保母養成卒11名、社保短卒25名、福県大卒（大学院卒を含む）5名、保健婦養成卒1名、公衛看卒1名、県看卒21名、学生21名、事務局スタッフ2名

○岸上美智子さん（福岡県立保母養成所2期）の乾杯の音頭で懇親会スタート。大学の食堂にて卒業生、在学生在が歓談しながら会食を行いました。



保母養成所2期の岸上美智子さん



○自然派レストランキッチンTAKASEのシェフ高瀬努さんより、こだわりのお弁当とデザートを紹介していただきました。



○少しの歓談ののち、卒業校別に出席をとるような形でその場にご起立いただきました。

○田川創作炭坑節CDR21のステージは「若さあふれるエネルギッシュなステージ!」「感動しました!」「楽しかった!」と大好評でした。

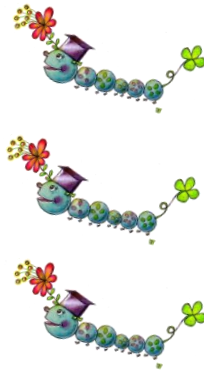


○生歌は迫力があって素晴らしかったです。



○最初は緊張気味だった現役の学生達も、先輩方の優しい語りかけに、徐々に表情も柔らかくなって話も弾んでいました。





○同期メンバーが揃うテーブルは、さらに賑やかで、すっかり学生時代にタイムスリップです。



○当日は、少し早めに集合して、学内探検をされた同窓生の方々もおられたようです。



○最後に、保母養成所2期の岸上美智子さんと佐山幸子さんと一緒に“トンカラリ体操”と“肩たたき体操”をし、会場は笑顔に包まれ、「大先輩に拍手!」とまた2年後元気で再会することを誓い、帰路へ。



○当番期は、出身校ごとにステージに上がり、代表の方よりご挨拶いただきました。当番期の皆様、ありがとうございました。次回総会は平成29年度福岡市開催予定です。またお会いできることを楽しみにしています。



○大学祭実行委員会より、11月7日、8日に行われる秋興祭のアナウンスがありました。詳しくは24ページをご覧ください。



総会・懇親会全体評価

◆総会について

①大変よかった	11名	②よかった	20名
③ふつう	14名	④悪かった	0名

◆懇親会について

①大変よかった	28名	②よかった	19名
③ふつう	3名	④悪かった	0名



◆総会への意見・感想

・大学での開催が有意義だと思いました。母校になったとの意識が持てました。看護学部の統合という嬉しい状況にも立ち会えました。これからの同窓会の運営も楽しみです。四役の皆様、どうぞこれからもよろしくをお願いいたします。

・新卒者の出席も少なく残念。入会の時の金額を上げてもよいのでは！

・幹事の皆様、たいへんお世話になっております。初めて参加させていただき、つくづく「お礼」を申し上げなくてはと思いました。ありがとうございます。

・わかりやすい説明でした。たくさんの意見が出て良かったですね。

・役員の方の名前が書いてあるものがほしかった。

・出席者少数でしたが、中身の濃い発言があり、知り得なかった事柄（看護学部同窓会の件・75歳以上減免会費・特別会計）を色々知ることが出来て総会に出席出来て良かったと思いました。

・遠くからの出席が多いので、開会を11時くらいにしてみんなが出席できる時間帯を考慮してほしい。

・同窓会館が出来ればいいですね。遠くから来る人たちが泊まれるような施設がほしい。前日から来られたら、もっと出席も多くなると思います。

・養成所卒業生1期2期は80才以上になりましたので、心身共に傷害がでて、なかなか出席できません。今回もいろいろ連絡しましたが、出席できずに残念です。

・若い人達で学校発展の為、同窓会の為頑張ってください。

・初めての参加でした。役員の方々の大変な思いを聞かせて頂き、感謝です。これからもよろしく願います。

・田川会場ということで、参加人数の少なさを心配していましたが、予想を上回る参加でほっとしました。

・若い頃、1回出席しただけでずっと不参加だったので全く分からなかったのですが、なんとなく意味がわかりました。いろいろお世話をいただき感謝しております。

・関係者の皆様、お疲れ様でした。同窓会の統合、大変喜んでます。いままでの経緯が大変よく解りました。今後の同窓会のあり方等、大変でしょうが益々発展されますよう祈っています。

・何とんでも看護学部と統合できたことが大変良かったですと思います。私は、保母養成所の4期生ですが、だんだん同窓会に参加出来なくなるのは当然の成

り行きです。でも、同窓会には年をとっても関心がありますし、懐かしい思いでいっぱいあります。同窓会のおたよりが送ってくるととても嬉しく思います。そのための費用はお支払いします。「同窓会だより」の様なものがあればいいなあと思います。同窓会活動については、幹事さんにお任せします。

・看護学部同窓会が統合することになり、良かったと思います。出席者が少ないことにびっくりしました。

（私も今まで出席していないので反省しています。）役員の方々、大変なお仕事ありがとうございます。

・役員は輪番制をとった方がよい。

・参加回数が少ない為、理解がなかなかスムーズにはいきませんが、耳新しい事に少しずつでも理解が出来ます様にと、お話を伺わせていただきました。ありがとうございました。

・執行部の皆様の活動について感謝しております。統合が決まり、本当に良かったと思っています。

・各議題について、説明をなさる方々が、とても流暢にお話しなさるので頭に入りませんでした。ただ、結論のみ理解できました。事務的な話し方というのはこうなのだと思います。慣れていないのです（私は）。もう少しやわらかいわかり易い総会にならないかなと感じました。保育科でしたし、保育所勤務でしたので、このような堅い会は???苦手でした。悪しからず。

・総会にあたって役員の方々、たいへんごくろうさまでした。就任のご挨拶、皆様大変上手でわかり易かったです。

・役員の皆様、御苦勞様でした。

・議長の進め方が良くて、わかりやすかったです。お疲れ様でした。

・期の幹事でありながら、しばらく離れてしまいましたが、仕事が少しゆっくりできるようになれば、また少し関わりを持つようにしたいと思います。

・川上会長以下役員の皆様方には、本当にお世話様です。今後ともよろしく願います。

・マイクの調整をしっかりと。

・初めて参加しましたが、少ないことに驚きました。その中で一生懸命役員さんが頑張っていたに感謝です。今後は、少しでも色々な面で協力しなくてはと心しました。有難うございました。

・看護学部同窓会の県立大学との統合大賛成です。総会に初めて出席しましたが、大変有意義な総会でした。有難うございました。

・皆様、御苦勞様でした。初めて参加しました。統合するのは大変な事ですね。早く、すっきりとした形で運営していける事を期待します。

・初めて参加させていただきました。同窓生といろいろ話をして、楽しい時間を過ごしました。会費納入率の低さにびっくりです。もっと、みんなで意識を高めるよう努力していきたいです。学校で開催すると参加しやすいかも…

・役員の方、本当に大変だと思います。ありがとうございます。これからのよろしく願います。初めて県立大学にきました。保助科6回生です。参加者

が少ないのが残念ですね。また、来ることがありましようか？同期生や先輩にもお会いできてうれしかったです。

・初めての参加。参加人数があまりにも少ないのでびっくりしました。役員さんのご苦勞がわかるような気がします。今年が最初で最後の参加と思って来たので申し訳なく思っています。

・田川の学校に初めて来ました。県看の同窓会役員をしていました。離れてからずいぶん年数が経つので経過がよく解りませんでした。今回の話で少しわかりました。今後は参加していくようにしたいと思います。

・県立大学の卒業生も次第に増加していく中で同窓会の運営も難しくなっていくと思います。私達卒業生としては、努めて現状での意見を個々に述べ、少数意見でも他の方々に知っていただくことが大切なのではないかと思いました。今後は出来るだけ意見を述べたいと思います。

・社保短6・7期生と8期生保育科の参加がなかったのが残念です。こんなに出席者が少なかったのですね。幹事の皆様、事務局の皆様、ご苦勞様です。今後ともよろしく願いいたします。

◆同窓会年会費について

・会費納入についてはできるだけ友だち同志で抜げていくと良いですね。

・年会費の徴収に関する事務量、費用を考えると年会費制廃止して、入会金のみで賄うのは難しいだろうか？ぜひご検討を。

・年会費は卒業生のみのお入会金でお願いしたい。以後は“寄付金”でどうでしょうか？

・同窓会への入会が少ないのはどうしてか？特に県立大学卒業生の入会が少ないのはどうしてか？入会するにあたってメリットがないからか？同窓会の事が知られていないからか…？（webサイトもあるにも関わらず）秋に全員に発信することなので、同窓会費納入率の向上（？）を目指して、大きくPRするとともに、納入しやすいうように工夫してみたいものである・・・せめて10%まで向上したいですが…

◆特別会計について

・特別会計がたくさんあるのでびっくりしました。どうぞ、有効に活用されますようお願いしています。

・特別会計の使用目的については、今後の課題だと思います。経理上、問題はありますか？

・三つの特別会計を一つにするのは反対です。それぞれに背景を持つ会計です。合わせて金額が大きくなると県大からの寄付の要請など、目的のある特別会計（施設をたてる）と寄付などに応じる特別会計（現県大）などのように分けている方がいいと思います。

・お疲れ様でした。厳しい会計状況ですが、“学生会館”建設に向けてよろしく願いいたします。



◆看護学部同窓会との統合について

・看護学部の統合については本当に良かったです。同窓会幹事として、今までの経緯をずっと伺ってきましたので役員の方々のご苦勞が報われて本当によかったと思います。これからも看護学部の要望事項や特別会計の事など、懸案事項が山積みだとは思いますが、頑張ってくださいと思います。

・とてもスムーズに進行していたと思います。事務局の方々、準備お疲れ様でした。看護学部の同窓会が統合されることはよいことだと思いますが、今まで音沙汰なしかった看護学部の方が統合を申し入れられて、そのことについてどう思っているのか少し疑問に感じました。現看護学部同窓会会長が、同窓会立ち上げに関わっておられないからかもしれません…

・スムーズに統合ができて良かったです。安心しました。役員の方々、御苦勞様でした。

・合併までたどりつけて良かったです。諸々の事を不問としての合併にギモンはありますが、まず一歩です。不明金や監査は看同に十分なさったでしょうから。

・看護学部同窓会の三つのお願い、経過措置として何年間は認めてあげると良いのではと個人的には思います。

・看護学部同窓会の立ち上げから統合まで、すべてに携わってきた一人として、本当にほっとしています。総会出欠表に書かれていた県看の方の思いを読んで、グッとこみ上げてくるものがありました。

・今回の総会の成果は、何より看護学部同窓会との一本化が出来たことだと思います。しこりを残さず、よい協力関係で同窓会のますますの発展を期待します。

・発言の多い総会で、看護学部同窓会との統合が出来て、良かったと思います。

・丁寧な説明で解り易かったです。役員、事務局の方々の努力が見えます。議題⑤のお願いが3件出ておりますが、看護学部のみの場合であれば不公平なのは？卒業生に全部するとしたら、会費納入の少ない中、実現出来るでしょうか？役員会で十分な協議をお願いします。

・看護学部同窓会統合決定という記念すべき総会に出席出来て良かったです。県立大学設立に向けて、同窓会が頑張っていた時を懐かしく思いながら話を聞いていました。

・看護学部同窓会と一緒にあってほっとしています。良かったです。役員の皆様、御苦勞様です。

・ご苦勞様でした。看護学部同窓会統合、良かったと思います。今後の発展を期待します。よろしく願いいたします。

事務局より

総会終了後のアンケートには、いろいろな意見、感想を記入していただきました。出席されなかった同窓生の方々にも、この総会がとても有意義なものであったことが伝わると嬉しいです。



総会・懇親会感想

社保短 社会福祉科5期 鬼木 八重子

今回は、当番幹事だったので、事務局の薦めで同期のみんなにお手紙を同封しました。また、福岡在住の人には電話をかけてみました。卒業以来初めて電話した人とも、なつかしく話すことができました。そして、社会福祉科8人、保育科7人併せて15人の同期生が集まり、とても楽しい時間を過ごす事ができました。もしかしたら、顔がわからないかもと思って持参したアルバムは不要でしたが、当時の時間を共有してきたことを思い出させ、みんな懐かしいと喜んでくれました。あっという間に、懇親会が終わり、2年後の再会を約束して、笑顔で別れました。次回も、同期に呼びかけてみんなに会えるのを楽しみにしています。

社保短 保育科5期 富松 眞由美

当日の朝を私は、ドキドキする思いで迎えました。伊田までの列車はひどく揺れて、蒸し暑く、だんだん「あの筑豊」に近づいている実感がありました。

せつかくの当番期の同窓会なのだから、「たくさん集まって和やかな同窓会になればいいなあ」と、名簿に載っている方には葉書で呼びかけたりもしました。でもはたして何人の方が来られるのか・・・。

この日までに数人の方から葉書や電話を戴いたけれど、残念ながら欠席のお返事である事が多く、不安と期待の足取りでした。集まったのは保育科7名・福祉科8名。(心の声：これって多いのorすくないの?)でも集まったら5期生は皆さん生き生きとし、良き年を重ねていて、楽しく、賑やかで話がつきません。時間はあっという間に過ぎてしまいました。別れる時皆口々に2年後は福岡できっとまた会おうね。楽しかったね・・・。ウーツ感激でした。旧友っていいなあ。帰りの私は 心の中で始終ニンマリしていました。

社保短 社会福祉科5期 稲吉 尚子

八月三十日の日曜日、卒業して以来あまり訪れたことのない大学の同窓会に出席する為家を出た。バスターミナルで一緒に行く同級生と待合わせていた。40余年ぶりに乗るバスは、福岡県立大学行があり、大学の構内にバス停が出来ていた。私は福岡県社会保育短期大学時代の卒業生で、そのころの校舎は隣の伊田小学校と同じ木造2階建てだった。今はあのころとは比べものにならない程、立派な建物になっていた。幹事の方の手紙や電話で行ってみようと思い参加した。同期の社会福祉科の参加は8名だった。顔を見てすぐに誰だかわかる人もいれば、しばらくはわからずだんだんに思い出した人もいた。皆さん、それぞれに年を重ね年相応の風貌になっていた。懇親会では、おいしいお弁当をいただき、なつかしく楽しいひとときを過ごすことが出来た。

私は60才少し前で、母の介護のため退職し、母と老犬一匹と暮している。近くに公園があるので、朝犬を連れて公園へ行くと同年代くらいの方がたくさん歩いたり走ったりされている。私も公園にあるストレッチの器具を使って腹筋をしたり、自転車こぎのペダルを踏んだり体操をしたりして健康維持に努めている。

先日、車で油山の展望台に行ってみた。すると駐車場の広場は満車状態で、野鳥の会の方が「ハチクマ」という渡り鳥の観察に来ていた。そういえば昨年この人達に出会っていた。毎年、秋の彼岸のころが一番多くの鳥が見られるとの事だった。彼岸が近づくとつれ多くの鳥を目にする様になった。空の高い所を結構早い速度で通り過ぎてゆく群を見た時は、何だか感動した。日常生活の中で、小さなことの中に楽しみを見出して、それを自分なりの表現法で何かの形に残していけたらいいなと思いながら過ごしている。



社保短5期の皆さん



公衛看 16期 高木 ミドリ

来る8月30日に行われた同窓会に初めて（申しない）出席しました。

公衆衛生看護学校16期生が当番期となっているので、当番期位は出席しないと申し訳ないと思ひ、出席しましたが、なんと公衆衛生看護学校卒業生は私一人でびっくりしました。福岡県立大学同窓会は雑居ビルの様で。ややこしく、同期会はしても同窓会への出席がなく、又同窓会費を収めている人が少ないのが現状の様です。

せっかく縁あって同窓会に加入させて頂いているのですから、もう少し関心をもって頂きたいと思ひペンを取りました。

役員のみなさん、スタッフのみなさん一生懸命同窓会の仕事をして下さっているの、それに答えようではありませんか。

今度の総会で福岡県立大学看護学部の同窓生も同じ同窓会員になりました。これを機会にもう一度じっくり考えて頂きたい。というのが今回の感想です。

私個人はようやく元気になり、古希を迎え、これからの人生を楽しく過せたらいいな一と思ひています。

県看 助産婦科12期 井上 朋子

県立看護専門学校を卒業して、早いもので二十三年経ちます。正直、母校が無くなってしまった事を今も寂しく思いますが、パワフルで、いつも学生の味方でいてくれた、素晴らしい恩師との出会い、そして、卒業して何年経っても、喜びも悲しみも分かち合える仲間との出会いは、私にとって本当に宝です。

現在、私は産婦人科クリニックに勤務しています。患者さまは多く、忙しい毎日ですが恩師の教えでもある『患者さまには常に優しく』を念頭に、日々頑張っております。患者さまの年齢層も幅広く、私達に求められるニーズや妊娠・出産のリスクも多様化し、また心のケアが必要な患者さまも増えているように感じます。まだまだ毎日が勉強です。仕事も、自分の子育ても……。

県看 保助科6期 江島 恵美子

保助科6回生の皆様、お元気でしょうか？杉山さんの訃報については近況報告（P19）をごらん下さい。改めてご冥福をお祈りします。

8月30日（日）の同窓会総会に、6人が集まりました。会えば、学生時代のまんまの乙女になりとても楽しかったです。そこで、ぜひ6回生の集りを……と話が出て、犬塚さんのお世話で、長崎のハウステンボスに泊って、リッチな気分になろうと決めました。まだ、日程は未定ですが、なるべく格安な時期を、検索中です。どうぞ楽しみにして下さい。



第26回福岡県立大学同窓会総会にて 2015. 8. 30
犬塚 吉田 江島 平田 岡田 生島

今年、3月に退職し、現在は、晴耕雨読とまではいなくても、起きる時間や、やる事も、またねる時間も、よか〜ごとして、ぐうたらとも言える生活を送ってます。通勤や、仕事等のストレスのある娑婆（しゃば）へは、もう戻ることはできないと思ひます。たぶん……きっと……。

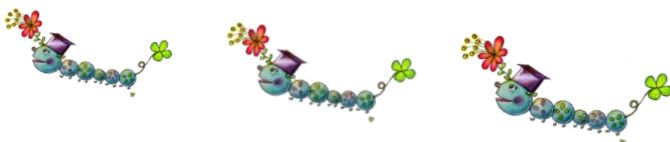
最近、陶芸を始め、花入れを作っています。なかなか難しく、思う形には程遠いのですが、楽しんでやっています。がばい上手にできたら次回お会いする時にお披露目しますね。どうぞ期待！！（できなかつたら、その次の機会に……）

クラス会のお知らせが届きましたら、さっそくスケジュールに入れて確保しておいて下さい。ぜひお会いしましょうね。楽しみに待っています。

県大 社会学科5期 石川 仁美

大学を卒業して、15年がたちました。早いものですね。仕事・家事・育児に追われる日常の中で、同窓会に出席する機会がこれまでありませんでしたが、今年度ようやく同窓会懇親会に出席することができました。自然派食材を使った美味しいお弁当・デザートを頂きながら、近況や情報の交換や在学生のパフォーマンスの鑑賞、「トンカラ体操」と呼ばれる体操などをし、有意義な時間でした。ありがとうございます。

同期生に再会できなかったのが残念でしたが、次回を楽しみにしたいと思います。



学生スタッフ（秋興祭実行委員）

人間形成学科3年 岩崎 萌

この度福岡県立大学の同窓会をお手伝いさせていただき、卒業した方々が食事をしながら楽しそうに談笑していらっしゃる姿がとても印象的でした。懇親会では私のアルバイトや将来のことをお話したり、また大人の方の意見を聞いたり、本当の先輩として近いところでお話をしてくださり、とても嬉しく思いました。こんな風に全国各地から人が集うのは素敵なことだと感じ、私も、ここで共に勉強した仲間をこれからも大事にしたいと思いました。

人間形成学科3年 上野 茜

同窓会総会には、最後のアンケート回収でしか関わることができませんでしたが、私たちが在学生在が知らないところで、OB・OGの方々が話し合いをしてくださっていることを知ることができて良かったです。懇親会では、OB・OGの方々と短い間ではありましたが、楽しくお話をしながら、おいしい昼食を食べることができ、有意義な時間でした。また、CDR21のダンスパフォーマンスを見たり、学祭のPRをさせていただくことができ、田川会場ならではの良い部分があったと思います。

最後に、同窓会の皆様には、学祭でたいへんお世話になっていますので、アルバイトという形ではありましたが、関わることができて良かったです。

公共社会学科3年 斎藤 由衣

自分はまだ在学生であるため、同窓会といわれてもあまり想像が付きませんでした。今回少しだけ同窓会を体験させていただいたように感じました。総会ときは、私は懇親会の準備や受付をしていたので、正直あまりわかりません。懇親会では、同窓会を期に同級生と久しぶりに会い、懐かしい話をしている参加者の方の姿が印象に残っています。ご飯もすごく美味しかったです。デザートが多かったのにみなさん喜んでいました。全体的に良かったと思います。ありがとうございました。

社会福祉学科2年 河野 美咲

私は初めて福岡県立大学の同窓会の総会に参加させていただいたのですが、たくさんの人が意見を言っていてすごく充実した総会だなという感じがしました。そして、懇親会でも美味しい料理だけでなく、CDR21のパフォーマンス、肩たたき運動などさまざまな催しものもあって、たくさんの人とコミュニケーションをとることができたり、たくさんの笑顔を見ることができたので、とてもよい懇親会だったと私は感じました。

CDR21

人間形成学科4年 中川 治美

今回、同窓会後の懇親会にCDR21として参加し、先輩方に温かく迎えていただいたおかげで私自身も楽しみながらパフォーマンスをすることができました。懇親会の席にも加えていただき、先輩方のお仕事や学生だったころのお話を聞くことができたことも貴重な体験になりました。CDRのステージが終わった後も「お疲れ様」「よかったよ」「また二年後に！」と声をかけていただきとてもうれしかったです。ぜひまた皆さんにお会いしたいです！ありがとうございました。

人間形成学科1年 岳元 真奈実

今回の出演は、私も毎日のように利用している生協食堂が会場で、私たちの先輩にあたる同窓生の皆様の前でのパフォーマンス披露となり、いつものステージとは少し違うアットホームで暖かい雰囲気を感じました。同窓生の皆様の大きな手拍子と明るい笑顔が印象に残っております。これからも皆様の笑顔のためにCDR21の一員として、また福岡県立大学の学生として、頑張ろうと思える良い機会となりました。ありがとうございました。

CDR21副代表 九州工業大学 2年 渡邊翔太郎

この間は福岡県立大学同窓会のイベントにCDR21を呼んでいただきありがとうございます。

今回は福岡県立大学のOBの方たちが僕たちCDRのパフォーマンスをご覧になるということなのでメンバーも緊張していたようでしたが、踊ってみると、会場の皆さんはとても温かく、踊り終わったあとも拍手や「ブラボー」といった声援をしていただけた方もいてとても嬉しかったです。また懇親会にも参加させていただきましたが、一緒に相席していた方はとても気さくでいろいろ話しかけて下さり、とても楽しくお話をさせていただきました。踊り終わったあとまた懇親会に戻ったら「踊りすごく良かったよ。ありがとう」と声をかけてくださってとても感動しました。

今後CDRを呼んでいただける機会があればそのときはよろしくお願いします。



踊りを盛り上げてもらって楽しかったです！

CDR21出演者